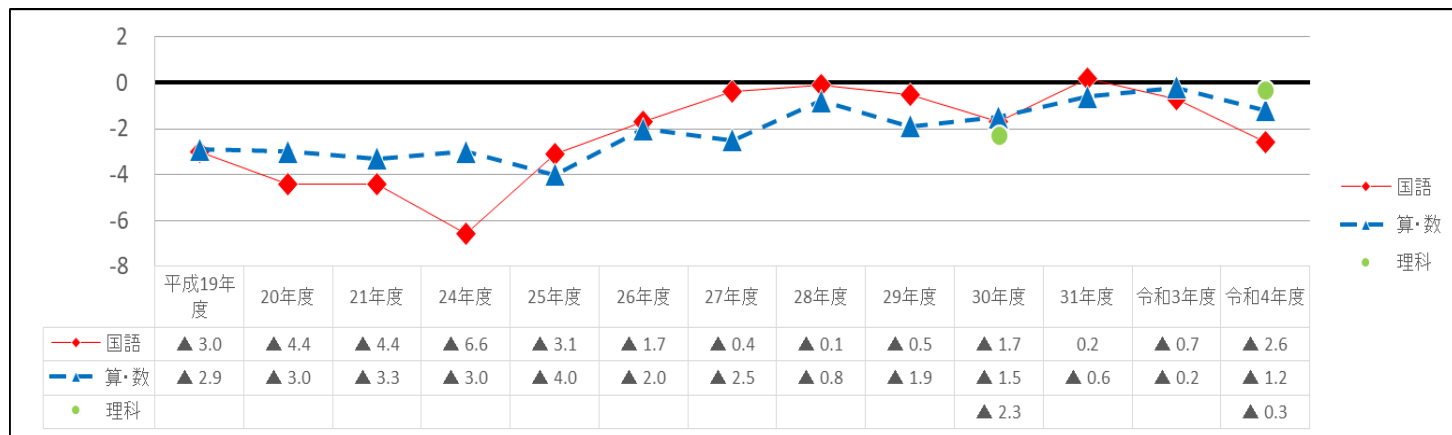


学力向上について

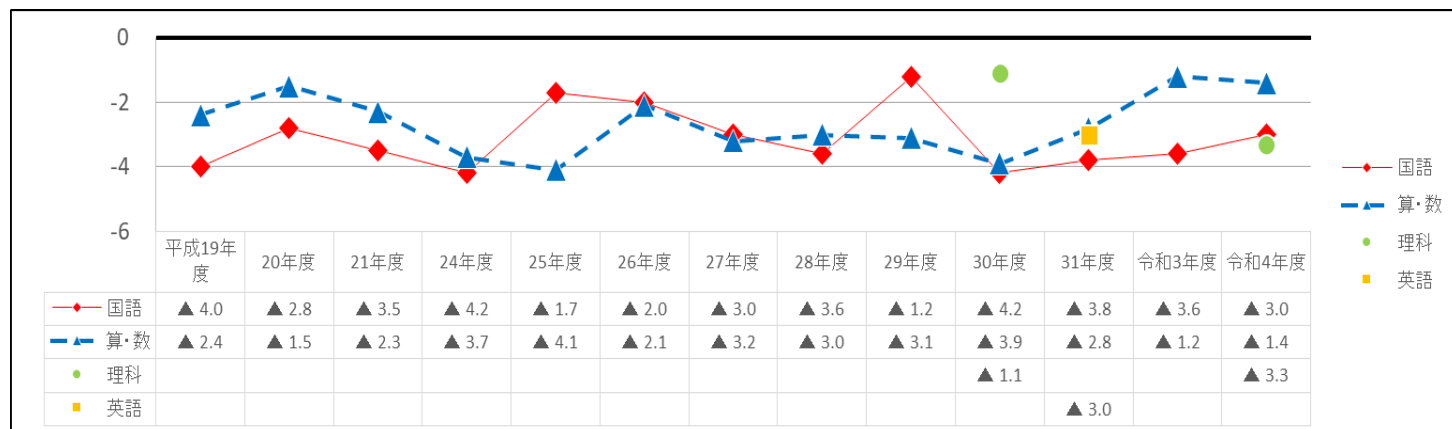
－ 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について － 担当:教育指導課

全国学力調査 経年変化(数値は全国の平均正答率との差)

【小学校6年生】国語・算数・理科（理科は H30, R4のみ実施）



【中学校3年生】国語・数学・理科・英語（理科は H30, R4, 英語は H31のみ実施）



1 成果と課題

- 小学校理科では、H30年度より改善し、全国平均値との差が縮まっている。
- 中学校国語では、依然全国平均値を下回っているものの、H30年度から改善傾向にある。
- 記述式の問題において、小学校算数・理科、中学校国語では改善傾向にある。
- 小学校算数, 中学校数学では、R3年度まで年々全国平均値との差が縮まってきたが、R4年度は差が広がった。
- 小学校国語は、実施された教科の中で最も全国平均値との差が開いた教科であり、2.5ポイント以上の差が開いたのはH25年度以来である。特に、「読むこと」に関する領域は、差が大きく開いている。

(裏面へ)

2 今後の取組

- (1) 本市の共通取組である「授業力UP5」の活用をさらに推進する。学習の定着に課題が見られる児童生徒を意識しながら、つきたい力を明確にし、一人一台端末も効果的に活用した授業改善に取り組む。
- (2) 教育指導課から「読む」「書く」の基礎的な力を育成するためのワークシートを定期的に市内の学校へ提供する。このワークシートは、週に1回、約15分間で、文章を読んで正しく書き写したり新聞を読んで問題を解いたりして、発達段階に応じた系統的な指導を行うためのものである。ワークシートに徹底して取り組むことで、読解力の定着を図る。
- (3) テレビやスマートフォンなどのメディア機器を使用する時間であるスクリーンタイムについて、引き続き、家庭と連携し、地域の力を借りながら、日常的な啓発活動や中学校区でのノーメディアデーの実施など、スクリーンタイムの減少に取り組む。
- (4) 家庭学習について、児童生徒の実態に合わせ、家庭学習の量だけでなく、内容やチェック体制についても見直しを行う。また、家庭学習に対する家庭の理解や協力が必要であることから、PTA、学校運営協議会等にも協力を求めるなど、家庭学習の充実に向けて、様々な面から改善を続ける。
- (5) 子どもの読書活動は、国語の力をつけていくためにも大切であるため、各校におけるこれまでの読書指導の見直しや環境整備を行い、読書時間の増加や、学校図書館の貸出冊数の増加を目指して読書活動の充実を図る。
- (6) (3)(4)(5)に関わって、学力および本市の重点課題である「スクリーンタイム」「家庭学習」「読書」を分析の視点として位置付けた改善シートを、各校において作成するとともに、定期的に取り組の進捗状況を検証することで、取組の見直し・改善を図る。

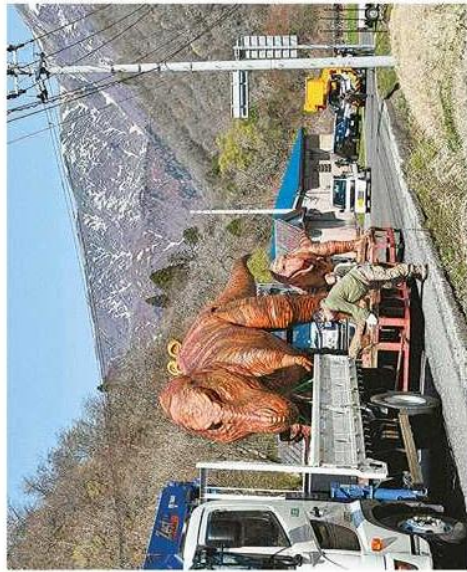


これらを支える本市の組織的な取組

教育委員会事務局と 担当学校長で意見交換を行う 学力向上プロジェクト会議	中学校区の連携強化と 共通取組	全中学校における組織的な 授業改善を目指した 鳴門教育大学との連携推進
--	--------------------	---



恐竜親子がドライブ!?



引っ張られて移動する恐竜のモニュメント―福井県大野市で

恐竜親子が、トラックに引っ張られています。福井県大野市で12日に見られた光景です。恐竜といっても実は作り物のモニュメント。冬の間は雪に埋もれないよう倉庫にしまっていたそうです。

モニュメントは、大野市で1996年にティラノサウルス類の歯の化石が見つかったことにちなんで、2000年に市内の「道の駅九頭竜」に設置されました。親は全長12m、子どもは4・6m。首やしっぽが動き、口を開けてほえることもあります。

約1億3千万年前の白垩紀前期には、この辺りをティラノサウルスが歩いていたのだでしょう。(13日、中日新聞福井版などに掲載)

問1 恐竜親子のモニュメントは、どうして倉庫にしまわれていたのでしょうか。

問2 恐竜親子のモニュメントは、福井県大野市のどこに引っ張っていかれたのでしょうか。

問3 福井県大野市辺りをティラノサウルスが歩いていたのは、今から何年前でしょうか。

中日新聞NIE事務局【活用にあたって】より

「恐竜親子がドライブ!?!」という見出しと写真にびっくりです。いったい何だろうという気持ちを読む原動力となります。

新聞を読むときは、見出しや写真にざっと目を通します。おもしろそうだなと思えば、リード文（第1段落）を読みます。さらに興味がわけば、本文を読んでいきます。

文章から必要な情報を速く正確に取り出すことが重視されています。新聞を読むことは、そういった力を付けることに有効です。

「モニュメント」という言葉は難しいですが、「作り物」や「歯の化石が見つかったことにちなんで」という言葉から意味を推定します。その後、国語辞典で確認するようにします。

恐竜の親子が、トラックに引っ張られています。福島県大野市で12日に見られた光景です。恐竜といっても実は作り物のモニュメント。冬の間は雪に埋もれないよう倉庫にしまっていたそうです。

モニュメントは、大野市で1996年にティラノサウルス類の歯の化石が見つかったことにちなんで、2000年に市内の「道の駅九頭竜」に設置されました。親は全長12m、子どもは4・6m。首やしっぽが動き、口を開けてほえることもあります。

約1億3千万年前の白亜紀前期には、この辺りをティラノサウルスが歩いていたのでしよう。（13日、中日新聞福井版などに掲載）

かいとうれい
解答例

問1：冬の間は雪に埋もれないようにするため。

問2：道の駅 九頭竜

問3：約1億3千万年前

【解説のポイント】

問1：「どうして」と理由を聞かれているので、「～からです。」や「～ためです。」と答えます。前後の文章のつながりを考えて、使い分けられるようにしましょう。

問2：「どこに」と場所を問われています。「～に」「～で」を意識して読み、線を引いたり印をつけたりするなどわかりやすくしておきましょう。

問3：数字が多く出てくるときは、その数字を○で囲むなどしてチェックしましょう。数字には重要な役割をしている時が多くあります。

1 平均正答率

	全校	全国 全国との差	昨年度 昨年度との差	来年度 来年度との差
国語	63	65.6 -2.6	-0.7 -1.9	-0.5
算数	62	63.2 -1.2	-0.2 -1.0	0

2 C層・D層の割合

	全校	全国 全国との差	全校(昨年度) 昨年度との差	来年度 来年度との差
国語	52.6	47.2 5.4	39.2 13.4	45
算数	49.2	48.1 1.1	47.4 1.8	45

※ C・D層の基準

R4 国語 C層(9問～7問)・D層(6問～1問)

R4 算数 C層(10問～8問)・D層(7問～1問)

R3 国語 C層(8問～7問)・D層(6問～1問)

R3 算数 C層(11問～9問)・D層(8問～1問)

3 テレビゲーム

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか【3時間以上】

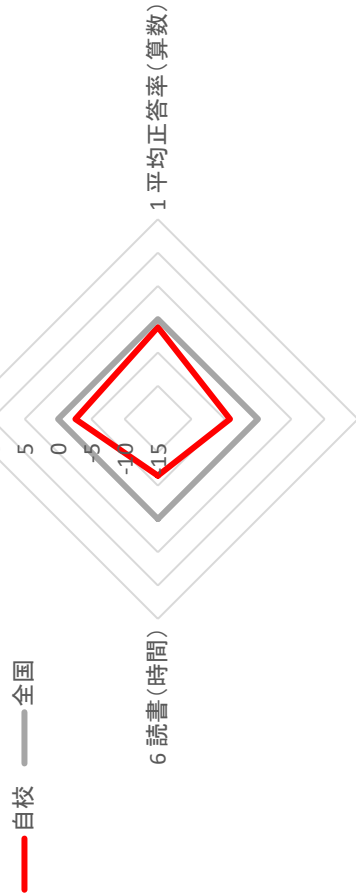
全校	全国 全国との差	全校(昨年度) 昨年度との差	来年度 来年度との差
30.9	30.7 0.2	33.9 -3.0	30

4 SNSや動画視聴

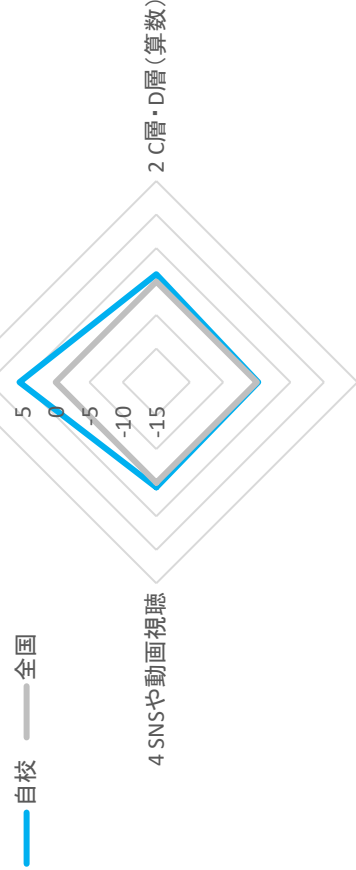
普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)【3時間以上】

全校	全国 全国との差	全校(昨年度) 昨年度との差	来年度 来年度との差
20.4	19.7 0.7		19

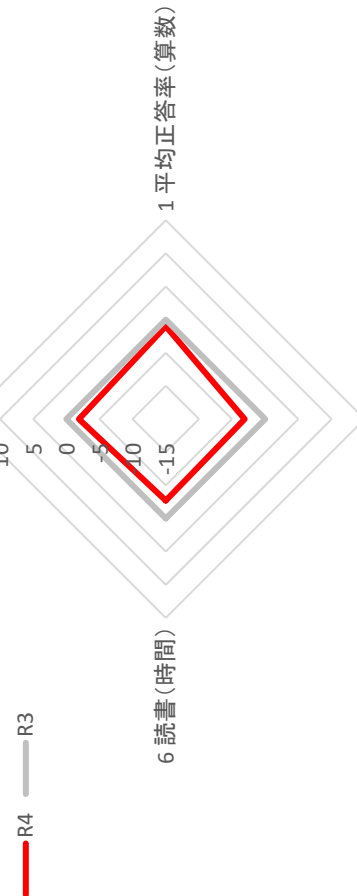
全国との差



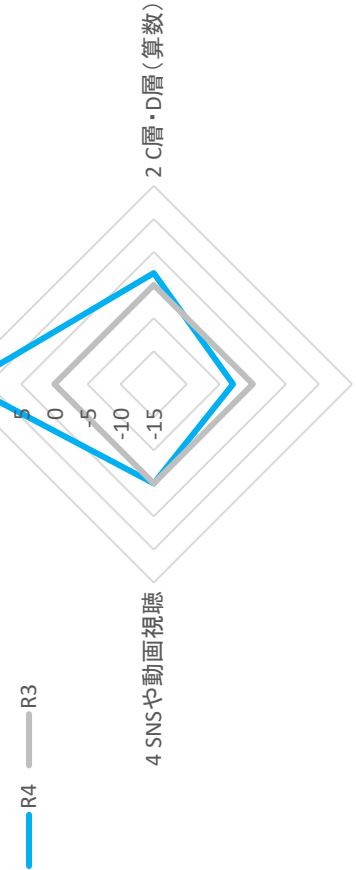
全国との差



全校の昨年度との差



全校の昨年度との差



5 家庭学習

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)【1時間以上】

全校	全国 全国との差	全校(昨年度) 昨年度との差	来年度 来年度との差
55.2	59.4 -4.2	58.3 -3.1	60

6 読書

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)【10分以上】

全校	全国 全国との差	全校(昨年度) 昨年度との差	来年度 来年度との差
53.1	59.6 -6.5	55.8 -2.7	60

(市独自調査)

全校の1人当たりの年間貸出冊数(R3年度)*1	100
全国(R2年度 学校図書館の現状に関する調査)	49
全国との差	51
全校の1人当たりの年間貸出冊数(R2年度)*2	90
R2年度との差	10
本年度の目標(全校の冊数)	110

*1 (全校のR3年度 総貸出冊数)÷(全校のR3年度 児童生徒数)

*2 (全校のR2年度 総貸出冊数)÷(全校のR2年度 児童生徒数)

※ 全校と全国では調査年度が異なりますが、一つの指標として使用しています

〇成果 ▲課題

〇算数の～において…

〇テレビゲームについて、～などスクリーンタイムの啓発活動を行った結果…

▲国語の～において…

▲家庭学習について、～などの取組を行ったが… 等

課題改善のための具体的な取組

・授業力UP5★を活用して…

・全職員が…

・家庭と連携するために… 等

[illegible]